

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1 参加者 L 西尾、山本、井谷、宮島

2 山城・ルート 台高/黒倉又谷

3 交通手段 車

4 行動記録

2018/9/2(日)

日帰り		山行	4時間27分	休憩	40分	合計	5時間7分					
S	篠場先の駐車場	07:08	07:46	入渓地点	08:20	大岩	09:28	4段の滝	09:41	10:09	植林小屋跡	10:36
12:15	篠場先の駐車場	G										

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

2 時間半で遡行終了と近年稀にみるスピードで遡行終了した。

下山も 1 時間半で予定通り。

b 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか 発生した場合は具体的に記す

なし

c その他、ルートに関する情報・気がついた事等

最初のゴルジュ帯は全高巻きで突破してしまえば、他に難しいところはない。

下山路は迷いやすいとの前情報であったが、要所要所でルート確認すれば、思ったよりは明瞭な道だった。GPS で先行者のログを落としておくとドーピングレベルで強力。

写真・感想はヤマレコ参照

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-1574873.html>

報告者氏名 宮島 2018 年 9 月 2 日

【ヤマレコより】

【出発前夜】

盆前まではあれだけ快晴続きの沢日和だったものが、盆からは天気が崩れ気味。今週も天気が良ければ 1 泊 2 日の沢を考えていたが、土曜日の雨予報、日曜午後からの小雨予報から、日曜の簡単な日帰りの沢を選びなおし黒倉又谷に行くことにした。

それでも金曜の夜の時点で天気を確認すると、日曜午前が雨予報のサイトもあった(mountain weather forecast)ので、土曜日 AM10 時まで判断を先送りする。土曜日の早朝に雷鳴で目が覚め、これはもう中止の連絡がリーダーの N さんから来るかなと思っていた。N さんも行くべきかぎりぎりまで迷っていたが、SCW 予報ではちょうど日曜 15 時までは降らないとのことで、雨が降らないことを祈って出発することに。

途中の櫃原付近で強めの雨に降られるもその後は止んだ。前泊地に到着すると先人がおり、なんと某会とのお友達の方でやはりこれから沢に行くとのこと。夜の宴会に軽く混ぜてもらい、いろいろ教えていただいた。正月とか冬にも沢に行くとのことと恐れ入りました。参考になる情報ありがとうございました。

筏場の駐車場は北村林業さんが管理しているということで、黒石谷分岐の老夫婦の管理人さんに600円を払う。こんな山奥で暮らす生活にシビれる！あこがれるッ！！

【沢】

沢自体は特筆することはない。今回のメンバーは、はよせ～や～さん、スナフキン、Nさんとの4人という最近では珍しいメンバー構成。当初は入渓すぐの釜で泳げるところは泳ごうと思ったが、メンバーに高巻き派(通称：タカ派)がおり、迷うことなく即高巻きすることになり、ゴルジュはさっさと全部巻いてしまう。ゴルジャーがいたら釜は完全遡行とかを目指してルートが直登になり時間がかかっていたかもしれない。メンバーによって全然ルートが異なる。

そのためザイルは一度も出さず、またその後の高巻きも小さく簡単なので、あっという間に2時間半で植林小屋跡まで到着。おおなんとY岡本の時間内で遡行完了。メンバーの足も揃っていたので早かった。前日の雨で水量は少し多めだったと思われるがもともと簡単な沢なので問題なかった。

【下山】

下山路が迷いやすいとの前情報があり、入念に下調べ。記録によって下山ルートが多少異なってる。最初のピンクテープでいきなり道が二つに分岐。登るかトラバースか。トラバースを選択したら道がすぐになくなった。登り返して稜線ルートに復帰して進む。

860m 付近の稜線のコルでさらに稜線沿いを北上するか、東側の支尾根を下るか **One more choice!!**

自分なら稜線沿いだったが、リーダー判断で東の支尾根沿いに降りる。ピンクテープはあるものの、ときどき道が不明瞭で2回ほど道を探す。ただすぐに見つかり大したことはなかった。思ったよりは明瞭で柏原谷のように神経を使いながらGPSとにらめっこして降りることもなく、順調に1時間半で下山。先人のGPSログ参照はドーピングレベルで強烈。もう最近では誰もコンパスなんて見てない！昼過ぎには下山。

温泉に入って、のんびり飯食ってから帰宅したが、明るいうちに帰宅できた。おかげで帰宅した日のうちに片づけはすべて終わり、ヤマレコも書ける。

【その他】

今回はかなりスピーディーに遡行できたので、はよせ～や～さんから「はよせ～や～」のお言葉はいただけなかった。ただしもう一つの詔である「いける、いける」のお言葉は一度だけ頂戴できた。

以上